

## 第 13 回：バックパックで世界へ行こう(その 1)

### 1. イントロダクション

- ・ 課題について：問題解決の本質
  - 生態系理論 ▶ 足首の骨折とひざ痛の関係
  - 人を変えない、人と対立しない、人に反対しない
  - 西海岸道路を通さない方法？ ▶ 道路がない方が、誰にとっても、浦添市にとっても、明らかに好ましい案を生み出せばよい？
  - 問題解決の本質は、問題の意味を変えること

### 2. 一人旅のすすめ

- ・ どんな授業を受けるよりも、1回の旅行で学ぶことの方が大きい
- ・ なぜ？
  - 自分の「安心領域」を逸脱する ▶ 行動、失敗、思考、行動
    - ◇ バスの乗り方一つ、食事の取り方一つ、値段の決め方一つ、モノを買うということの意味一つ、全てが異なる世界観
  - 誰も自分を知らない、自分は何も知らない、普段の人間関係に制約されない環境で、自分を見つめる ▶ 人間関係を考える
    - ◇ 自分を知らない人にとって、自分はどのような存在なのだろうか？
    - ◇ 自分を全く信用しない人から、信頼を勝ち得るには、どうすればいいだろうか？
    - ◇ そもそも、人間関係とは何だろうか？
    - ◇ あなたは自分をどう表現する？一言、二言で自分を紹介するとしたら、なんと言う？ ▶ 一言で言えば、あなたは誰？
  - 未知の領域で、自分ができることを考える
    - ◇ 自分の経験が役に立たない、初めての経験で、どのように行動すべきだろうか？
    - ◇ 不十分な、それも著しく不十分な情報に基づいて、どう判断するか、どう行動するか？
      - ▶ 人生の本質とは、不確定であるということ
    - ◇ 自分にとってのリスクとは何だろうか？
    - ◇ 説明がつかない出来事はどう考える？
  - 自分の常識がいかに恣意的なものであるかを知る ▶ 自分の常識の幅を広げる
    - ◇ 卵は黄色い？キュウリは細い？
    - ◇ 「自分の常識は、世界の常識とは限らない」ということを知るだけでも価値がある
  - 判断、決断に向き合う
    - ◇ 選択するのは自分 ▶ 自分の決断に100%責任を持たざるを得ない
    - ◇ 直感に従うことの意味 ▶ あなたは自分の直感を信頼しているか？
    - ◇ 良い人間、悪い人間、安全な場所、危険な場所をどう見分けるか？

- ・ 沖縄を見る、日本を見る
  - リゾートを視察する課題の意味
  - 久米島出身者「久米島のために努力したい」？しかし、彼は久米島最大の観光スポット、はての浜に一度もいったことがないという ▶ 本当に島のために働けるのか？
  - 普段自分がしたことがない、とてもしそうな行動
  - 筑波から大分まで、自転車旅行
  
- ・ 行動原則 ▶ 自分の行動原則を見つける
  - 失敗から学ぶ ▶ 「旅の恥はかき捨て」を正しく使う ▶ 自分の殻を破るために利用する
  - 道中を急がない ▶ この先の出来事よりも、今の体験が重要 ▶ この瞬間を味わえるか？
  - 体調管理 ▶ 自分の体の調子を知るのは、意外に難しい ▶ 風邪で寝込む、食事中にトイレで気絶、インドの安宿で大量のダニに噛まれる ▶ 大事を取ってホテルにチェックイン
  - モノを盗まれるのは治安のせいではない ▶ どんなに安全な場所でも、あなた次第でモノはなくなる
  - 通貨の闇交換、違法ドラッグ ▶ 「冒険」の意味を取り違えないように
  - かつての中国で、アメリカ煙草の威力
  - 原則として、日が暮れてから宿を探さない ▶ 気持ちが焦ると判断を誤る
    - ◇ 海南島の出来事、マラケッシュの出来事
  - 主体性：基本的に相手から持ちかけられるものはすべて、相手の利害を目的としている
  - トラブルは必ず起こる、トラブルを恐れるより、トラブルを怖がらない自分になる ▶ 人生、大概の問題は解決可能である
  
- ・ セレンディピティを重視する
  - 下河辺との会話
  - 「授業よりも学べる」ブラジル人教師
  - 幸運な人生が、幸運を呼び込む ▶ 感謝
  
- ・ 交通手段
  - 飛行機の中から旅は始まる ▶ エキゾチックな航空会社の楽しみ ▶ 予期せぬ経由地に驚かないように
  - 空港の白タクを振り切る
  - 列車、タクシー、長距離バス、路線バス、その他
  
- ・ 一人旅の魅力
  - 友人と行く旅行は、海外留学で日本人学生とたむろするのと同じ
  - 一人旅は一人ではない、ドミトリーを使えば一人でいることは殆どない ▶ 一人旅は、友人を作りやすい
  - 旅の最中に情報収集 ▶ 旅行者との会話は情報の宝庫
  - 写真はどのように？日記を書く？スケッチや小説？

- ・ 人間関係
  - ほんとうに色々な価値観
  - 自分の常識にはない世界
  - 理由は分からなくていい
    - ◇ 理由はあなたの常識の中にはない ▶ したがって、「合理的な」理由は見つけることが出来ない ▶ 合理性を信じて受け入れる
  - ディベートを挑もう
  - 人を信じる時、人を疑う時 ▶ 基本的に受け身の話によいものはない ▶ 自分で選択することが身を守る
  
- ・ お金の使い方
  - 空港で換金することのメリットは意外に大きい
  - 節約第一だが、しばしばお金の使い方を考えさせられる(中国でのチェックイン) ▶ 常にケチでは、大事なものを失う、お金の本当の価値を考える良い機会
  - 超高級ホテルと、最低価格ホテルを交互に泊まる ▶ イザドア・シャープの旅行
  - 為替と金銭感覚 ▶ 日本円換算で考えるべき？現地通貨ベースで考えるべき？
  - 買い物は戦いである ▶ 「適正な値段」とは何か？どうやって見つけるか？
  - 交渉と胆力 ▶ 冷静に考えれば、日常では激しい交渉などする機会はない
  
- ・ 言葉はハンディか？
  - 中国で英語を話す
  - 語学力はコミュニケーション力の一部に過ぎない ▶ ウェイトレスの手を引いて注文する ▶ 筆談が効果的だとは限らない ▶ 創造性を発揮する
  - 人間力がコミュニケーションを助ける
  
- ・ 行き先を決める
  - 「まずは国内」、という手もある ▶ つくば市から大分杵築市まで、1ヶ月間の自転車の旅
  - 自分に制約を課せない
    - ◇ シルクロード、ブラック・アフリカ、アマゾン、パタゴニア、ブータン
  - コストで決める
    - ◇ 第三世界はバックパッカーの王国
    - ◇ 旅行者の経済、地元民の経済
  - 知的関心のままに
    - ◇ 本や歴史にインスピレーションを受ける
      - 沢木耕太郎「深夜特急」、ジム・ロジャーズ
      - パリ下水道博物館・全長 2.4 キロ(レ・ミゼラブル)
    - ◇ 目的地をテーマで決める
      - エアバス組立て工場見学(フランス、トゥールーズ)
      - ハーレーダビッドソン本社工場のライン見学(フィラデルフィア州、ヨーク)
    - ◇ 空港を見に行く
    - ◇ 建築・リゾート・美術館などを見に行く

- リゾート巡り、ガウディのバルセロナ、コルビュジェ
- 人に会いに行く
  - ◇ 親戚、友人、エアバンド、カウチサーフィン
- 直感で選び、行ってから考える ▶ 情報収集は現地でどんどんうまくなる
  - ◇ 休みの初日、まずバンコク(香港)へ
  - ◇ 行き先を決めない旅
  - ◇ セレンディピティをガイドにする ▶ 土佐桂浜(後々「龍馬がゆく」が愛読書に)
- ・ ガイドブック
  - 何と言っても「地球の歩き方」
  - Let's GO ▶ 日本人とはまったく異なる旅行者の流れにアクセスできる
- ・ 準備も旅の重要な要素
  - パスポート、ビザ、航空券、旅程、ルート、予算、通貨、予防接種
  - 何を見るか？なぜ見るか？
  - 旅なれるほど、荷物は少なくなる ▶ 基本的に服以外のものは必要ない ▶ 中国旅行のボストンバッグ、オーストラリアのシェフの荷物